

# 各国の思い出を胸いっぱい詰め込んで 感動の海外体験記

市では、次代を担う中高生に海外の教育・文化などに接してもらい、その国の生徒との交流を通して相互理解を深めるなど、国際感覚豊かな人材を育てることを目的として「青少年海外派遣事業」を実施しています。

平成22年度は、カナダ、オーストラリア、アメリカの3カ国へ市内の中高生27人を派遣。

生徒の皆さんは、それぞれのテーマとプランで海外に旅立ち、日本との生活・文化の違い、地元の同年代との交流、ホームステイなど、さまざまな意義深い体験をし、たくさんのことを学びました。

今月号では、カナダとオーストラリアでの活動や体験の様子をお知らせします。

※アメリカについては、3月下旬に派遣となります。

【問い合わせ】 教育委員会生涯学習課 ☎ 0220 (34) 2698



▲シドニーにある20世紀を代表する近代建築物オペラハウスをバックに【オーストラリア】

▼フレーザー川河畔にある登米市ゆかりの「及甚記念碑」前で【カナダ】



## 「英語の大切さを実感した8日間」



氏家 京香さん  
(米山中2年)

研修を終えて一番最初に思ったことは「楽しかった」という率直な言葉でした。オーストラリアでの生活は、一日一日が充実し発見の連続でした。日本とはどこが違うのか。家の造りはどうか。木や植物はどうかなど、日本と違う所に数多く気付きました。

ホームステイでは、シャネルやアネットさん、ローリーさんなど多くの人に親切にしてもらいました。特にシャネルは、わたしより一つ年下の13歳なのに、わたしのことをきちんと考えてくれていて、逆にわたしのほうが年下みたいだなと感じました。

また、英会話は簡単ではなく、何と言って自分の思いを言葉にすれば良いのかなど、一つ一つの物事にとっても頭を使った気がします。簡単な日本語は通じることがあっても、英語というわたしにとっての非日常言語を使わなければ相手は分かりません。今回の事業に参加して、英語の大切さや日本語と英語の面白さなど言語の違いをより身近に感じることができ、世界に通用する語学を学ぶということは自分と他の国との交流をより深めていくことでもあるのだと実感しました。

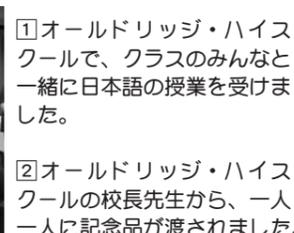
この研修を通してオーストラリアのことが詳しく分かりました。これからも他国との交流を深め文化や言語など、さまざまな方向へ目を向けていきたいと思えます。最後にこの研修に参加して本当に良かったです。

## オーストラリア Australia

【日程】 平成22年10月27日(水)  
～11月3日(水)

【派遣団員数】 市内中学生10人

【訪問都市】 メリバラ、ブリスベン、シドニーほか



① オールドリッジ・ハイスクールで、クラスのみならず一緒に日本語の授業を受けました。

② オールドリッジ・ハイスクールの校長先生から、一人一人に記念品が渡されました。

③ メリバラ市を訪れ、市役所庁舎を表敬訪問しました。

④ メリバラ市に滞在期間中お世話になった、ホストファミリーの皆さんと一緒に記念撮影をしました。

## 「将来またカナダにきたい！」



菅原 諒さん  
(佐沼中2年)

成田空港を出発する時は、初の海外なのでとても緊張していましたが、飛行機に乗りバンクーバー空港に着いた時は思っていたより時差ボケは軽く、緊張の中にも期待に胸を膨らませていました。

最初の2日間はバンクーバーを訪れ、佐藤島や及川島、スタンリーパークなどを見学しました。バンクーバーには自然がとても多く日本とは環境が全然違うなと思いました。

バーノンではカラマルカ・セカンダリー・スクールで初めてホストファミリーに会いました。最初は何と云ってよいのか分からず「初めまして」くらいしか言えませんでした。それでもホストファミリーは英語が下手なわたしに簡単な英語で話してくれました。

バーノンで過ごした4日間は、多くの発見や素晴らしい体験がたくさんあり、時間がたつのを早く感じました。滞在期間中ホストファミリーの皆さんにはとても優しくしてもらいとても感謝しています。

また、ケロウナ空港からバンクーバー空港に向かう時、登米市中田町出身の方から「世界は広いんだから日本だけで一生を終えるのはもったいないよ」と言われました。その言葉を聞き「今度は生きている英語を使うため、将来またカナダにきたい」と思いました。

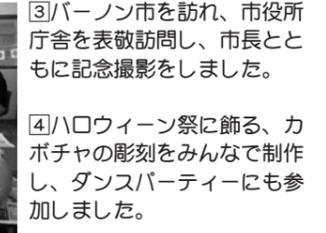
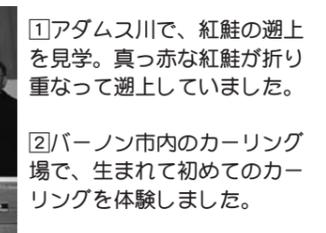
これからの生活では、この8日間の貴重な経験を自分の中に生かしていきたいと思えます。

## カナダ Canada

【日程】 平成22年10月25日(月)  
～11月1日(月)

【派遣団員数】 市内中学生6人

【訪問都市】 バーノン、バンクーバーほか



① アダムス川で、紅鮭の遡上を見学。真っ赤な紅鮭が折り重なって遡上していました。

② バーノン市内のカーリング場で、生まれて初めてのカーリングを体験しました。

③ バーノン市を訪れ、市役所庁舎を表敬訪問し、市長とともに記念撮影をしました。

④ ハロウィーン祭に飾る、カボチャの彫刻をみんなで制作し、ダンスパーティーにも参加しました。